

会 議 録

会 議 の 名 称	令和２年度第２回行田市男女共同参画推進審議会	
開 催 日 時	令和２年１０月２６日（月）開会：午前１０時３０分 閉会：午前１１時２０分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員） 氏 名	田代美江子委員（会長）、山崎孝子委員（副会長）、茂木美智代委員、塚越要委員、原敬三委員、中村賢三委員、山本直樹委員、羽鳥嗣郎委員、阿南憲一委員、大野久美子委員（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員） 氏 名	井上文子委員、小林亘委員、加藤修一委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、内藤和彦（主査）、新島紀子（主任）	
会 議 内 容	１）令和元年度男女共同参画推進プラン実績に対する各課ヒアリングについて	
会 議 資 料	・令和元年度プラン実績：各課ヒアリング ・施策個別評価表と返信用封筒 ・平成３０年度分第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗 ・令和元年度分第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和２年 月 日	⑨

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会 ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認
事務局	田代会長にあいさつをお願いします。
田代会長	あいさつ
事務局	この後の議事については、審議会運営規則第3条に基づき、田代会長に議長となつていただき、議事進行をお願いします。
議長	本日の会議は過半数が出席しているので成立している。 事務局に確認する。本日は非公開とする事項はあるか。
事務局	非公開とする内容はない。また、本日の傍聴希望はない。
議長	では、次第に基づき議事を進行する。 議事（1）令和元年度男女共同参画推進プラン実績に対するヒアリングについて事務局に説明を求める。
事務局	2 議事（1）令和元年度男女共同参画推進プラン実績に対するヒアリングについての説明。
議長	今回のヒアリングは、羽鳥委員から消防本部について、中村委員から農政課について、質問を出していただいた。担当課の説明を聞いて何かお聞きしたいことがあれば積極的にお尋ねいただきたい。 消防本部入室

議長	本日は御多忙の中、出席者いただき感謝申し上げます。では、説明をお願いします。
消防本部	甲斐姫分団についてであるが、行田市消防団団本部に所属していた女性消防団員が平成 31 年 4 月 1 日から甲斐姫分団として独立したことから、浮き城のまち行田市消防ボランティアレディース隊の抱える隊員の高齢化の実情を踏まえレディース隊は解散となる。活動内容は、レディース隊の活動を引き継いでいる他、他の分団同様、月 1 回の定例会において、心肺蘇生の訓練などを分団庁舎において実施している。 また、各種イベント、さきたま火祭り、行田市の防災訓練、埼玉県女性消防団県下一斉 PR イベント等への参加や消防団主催の行事や消防署と合同で独り暮らしの高齢者宅への防火訪問のほか、埼玉県消防学校での各種研修等へ参加している。
議長	只今の説明内容について、何かご質問等あったらお願いします。
羽鳥委員	最近はコロナウィルス感染拡大防止のため、皆さんが集まっての講習会等ができない状況である。自治会活動の中でも防災が重要な問題になってきている。今後の災害等に備えて甲斐姫分団に地域公民館等を利用して講習会等実施してもらえるのか。できる場合はどんな内容なのか教えていただきたい。
消防本部	消防団員は、生業を営みながら消防団活動を行っており、女性団員も仕事をしながら活動をしている。依頼のあった日程で活動が可能という団員がいれば出向いて心肺蘇生法など指導等をさせていただくことは可能である。
議長	よろしいか。他にあるか。
山崎副会長	女性団員の年齢層はどのくらいなのか。

消防本部	平均年齢は 46 歳である。
山崎副会長	現在、団員数が 10 人であるが、女性の力を発揮するためには 50 人くらいは必要なのではないか。増やしていく計画はあるのか。
消防本部	事務局としても、10 人では少ないと感じている。積極的に職員の妻やその友人などに声がけをしているが、入団に至っていない。 昨年度、消防団員募集という旗を作ったが、コロナウィルスの影響で各種イベント、消防団の主催するものもすべて中止になっており、イベント自体が実施できないのが現状である。
大野委員	各自治会などに声がけしているのか。
消防本部	今年度の予定として、全自治会に女性、男性消防団員両方の入団 PR のチラシの作成を女性消防団員にお願いしているが、9 月まで分団の集まりを制限していたので、その作業も進んでいない状況である。
羽鳥委員	市内には 15 地域に地区の自治会連合会があり、避難所の設置を 51 ヶ所予定している。避難所の運営は自治会連合会の役員や地元の協力がなければ難しい。各地区連合会の中から甲斐姫分団の協力者を探していただき、それぞれの地元から募集してもらえれば、もっと広く連携が取れると思うがどうか。
消防本部	貴重なご意見をいただいた。上司と相談して自治会にお願いできるかも含めて検討させていただく。
議長	重要な意見なので是非反映させていただければと思う。私から基本的な質問であるが、ボランティアレディース隊と甲斐姫分団の一番の違いは何なのか。

消防本部	ボランティアレディース隊が甲斐姫分団に変わったわけではなく、甲斐姫分団は行田市消防団として女性目線で消防団活動をしていただいております、消防団員として採用をしている。 ボランティアレディース隊は昭和の時代から自治会単位で入っていただいて、災害が発生したときのバックグラウンドをやるのが活動目標であった。レディース隊の隊員も高齢化し、不在の地区もあり、活動休止の地区もでてきた。そこで甲斐姫分団が一つの分団として立ち上がったので、レディース隊は解散して、活動全般を行田市消防団として担っていくところからスタートした。
議長	よく理解できた。もう 1 点、分団のいろいろな活動というのは、有償なのか。無償なのか。
消防本部	レディース隊に関しては全くのボランティアで活動していただいた。行田市消防団については、市の条例に定めがあり、実際に災害活動をした際には費用弁償を支給している。報酬についても定めがあり、年間の活動に対して年額報酬を支給している。
議長	他にあるか。
山崎副会長	各地区で防災訓練など実施していると思うが、それは消防署の方から訓練を実施するように働きかけなどしているのか。
消防本部	こちらから訓練を実施してほしいとの要請はしていない。救急講習は消防署の職員、消火訓練、避難訓練等であれば消防本部予防課の職員が出向いている。そのような機会に訓練の必要性を強く訴えて継続的に実施してもらえるように指導を行っている。
山崎副会長	消防本部ではどこの地区がいつ訓練を実施したのかの統計は取っているのか。

消防本部	派遣依頼をいただいた際に申請書を提出いただいているので記録があり把握している。
山崎副会長	実施していない地区には指導していただけたらありがたい。
消防本部	承知した。
議長	他にはいかがか。
原委員	避難訓練、消防訓練だが、窓口が防災安全課の場合もある。消防署と防災安全課の連携はどうなっているのか。
消防本部	連絡体制も含めて、行田市としての防災訓練であれば消防団に防災安全課から依頼があり参加している。
原委員	例えば、各自治会で消防訓練を実施する場合に防災安全課に連絡すると実績はどのようなになるのか。
消防本部	防災安全課を通した分については消防署は把握していない。
原委員	横の連絡はないということか。
消防本部	そのとおりである。
議長	時間も経過しているのでよろしいか。いろいろ詳しくお答えいただき感謝する。以上で消防本部のヒアリングを終了する。 消防本部退室 農政課入室
議長	本日は業務御多忙の中、出席いただき感謝申し上げます。

農政課	これより農政課のヒアリングを行う。では説明をお願いします。 ヒアリングの回答、女性役員の増員が必要であるとのことで、農政課の対応について説明させていただく。 数値的なものから説明させていただくが、国の農林水産統計で平成29年度の状況では、農業従事者が全国で224万1千人おり、そのうち女性従業者が107万1千人、45.8%となっている。ただし、この数字はほとんどが夫婦や家族であり、代表者は男性が多いという状況である。 そうした中で行田市の農業団体の状況は9団体あり、委員数が148名、うち女性委員が18名で、こちらも全体に占める割合が少ない状況である。現在、団体役員数が47名で、このうち女性役員は7名で、この割合を（女性役員の増員）30%にするには14名必要となり、女性委員18名の中の14名が役員になるとすると8割くらいが役員になることから難しいと考えられる。そうした現況で、まずは委員に占める女性の割合を増やしたいと考えている。 女性農業者の活躍推進については埼玉県でも行っており、その中で加須地区女性農業者連絡協議会がある。ここの所管で埼玉県加須農林振興センターがあり、この管内には、行田市、加須市、羽生市、一部旧の川里村で鴻巣市が入っているが、この連絡協議会を通じて女性農業者についても情報をいただきながら増加の推進に努めていきたいと考えている。
議長	では、皆様から質問等あればお願いします。
山崎副会長	これだけの資料ではわかりにくいですが、この農業団体というのはどういう団体なのか。
農政課	花き園芸組合、肉牛とか乳牛といった畜産関係の畜産振興協議会、地産地消を推進する地産地消推進協議会、「行田在来青大豆」商品開発・販売促進協議会、大きいところでは田んぼアート米づくり体験事

	業推進協議会などがある。
山崎副会長	そのうちの女性役員がいる 5 団体はどれか。
農政課	畜産振興協議会、地産地消推進協議会、軽トラ朝市実行委員会、「行田在来青大豆」商品開発・販売促進協議会、田んぼアート米づくり体験事業推進協議会である。
議長	よろしいか。他にはいかがか。
山崎副会長	JA とのコラボはないのか。田んぼアートは大々的にやっているが、JA が指導しながら女性の就農者を増やすようなことはやっていないのか。
農政課	JA ほくさいに女性部があるので情報を共有しながら、声がけをしていきたい。
山崎副会長	私が知っている方でシイタケ栽培を大々的にやっている方がいる。いろいろな観点から女性もできる農業を広げていただけると行田市の農家ももっとパワーアップするのではないか。
羽鳥委員	地産地消協議会があると聞いたが、行田ではどういうものが地産地消の作物なのか。
農政課	行田在来青大豆、梨、いちご、花、他には胡瓜など野菜関係、畜産も養鶏で玉子とか、基幹の米、麦もある。
山本委員	女性役員が入っている 5 団体はいろいろな面で活躍しているイメージがあるが、残りの 4 団体は女性役員がいないことで、あまり目立っていないイメージがある。行田市は P R があまり上手ではないと感じている。女性役員が前面に出てスポットがあたるようなイベント

	があればよいのではないか。
塚越委員	今 PR という話が出たが、現在 PR やイベントを行っている場所とか機会とかどんなものがあるのか。
農政課	行田在来青大豆はイオンフードを通して販売している。行田軽トラ朝市から変わった行田はちまんマルシェが、今月 11 日から八幡通りにおいて、若葉保育園の駐車場を借りて毎週日曜日 9 時から 12 時まで開催している。そこで採れたての農産物やクラフト品、手芸品などいろいろ取り入れて農産物に限らずマルシェという形で推進している。
中村委員	どの程度 PR しているのか。例えば、市内だけでなく市外や県とも連携を取っているのか。
農政課	現在はホームページや市報などだが、マルシェについては、会場に近い地域にはチラシのポスティングを行い PR に努めている。
中村委員	市の PR をみると広報紙に小さく記事を載せるだけで、農家の人には意見を言っても聞いてくれないと伺っている。農業も女性を前面に出して PR すれば産業として成り立つのではないか。
茂木委員	JA 女性部はどのような方が何人くらいいるのか。
農政課	本日は資料を持ち合わせていないため人数は不明である。
茂木委員	女性部というのはあるのか。
農政課	ある。
議長	先ほどの農林水産省の統計では、45.8%という数字があった。単純

	に比較はできないと思うが、行田市の状況ではそもそも女性が少なく役員の割合が少ない。全国的な調査では半分を占めているにもかかわらず行田市では農業団体の委員数 148 名中女性数が 18 名である。この原因とか増やしていくためにはどうしたらいいか。そこをどのように考えているのか教えていただきたい。
農政課	原因としてはやはり家族経営で、代表がその世帯主ということで男性の割合が多くなっている。家族経営協定では男性女性問わず代表になれるのでそうした点についての推進も考えられる。 また、認定農業者制度もあり、こちらも現状代表は男性が多いが、家族経営協定を結べば連名で認定農業者という形になり、女性の割合を増やすことは可能だと考えている。
議長	女性に表に出ていただき女性の観点からの対策を反映させていただくのが重要だと思う。 他にはよろしいか。 では、これで農政課のヒアリングを終了する。ご多忙の中、ご出席いただき感謝申し上げます。 農政課退室
議長	以上でヒアリングが終了した。ヒアリングの良さというのは担当課からの声を直接聞くことができるということもある。委員の皆様からいろいろな意見が出たことは本当に意義があったと思う。 では、この後の予定について事務局から説明をお願いします。
事務局	今後の日程であるが、配布してある施策個別票と第 1 回の審議会で審議いただいた進捗状況報告の重点施策 1 から 15 の各事業の中で特に評価したい施策について、評価、意見を記入いただき事務局まで送付をお願いしたい。 皆様からお寄せいただいた意見等を事務局で重点施策ごとにまと

議長	めるので、次の審議会でその内容について再度審議いただく。その後、最終的にコメントをまとめたものが、令和元年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見として市長に報告する形となる。提出期限は11月20日（金）までをお願いしたい。 初めての方もいるが、昨年度の報告書を見ていただくとイメージしやすいと思う。良かった点と課題があると思った点にコメントを記載していただく。施策ごとに記入欄が2つずつになっているが、ご自身で見て関心のある部分、また、全体的なことについての評価や意見もぜひいただきたい。 ご質問等あるか。
中村委員	この評価というのは、各自進捗状況報告の内容を確認するという考えでよろしいのか。
山崎副会長	進捗状況報告を見て自身で判断する。この内容を自分がどう考えるのか。評価できるならA、もっと頑張ってもらえばCとか。なので内容を細かく見なければ評価できない。
議長	それが委員としての仕事である。よろしくお願いします。もしわからないことがあれば事務局に問い合わせていただきたい。提出が11月20日までなのでよろしくお願いします。 次のその他について事務局から願います。
事務局	男女共同参画推進事業所表彰について報告させていただく。この表彰については、男女が共同して参画することができる職場づくりを積極的に行っている企業を表彰するというもので、自己申告制であり応募していただいた中から表彰の可否を判断している。今年度は応募がなかったことから表彰事業所なしで進めさせていただく。

議長	他に何か質問等あるか。
	特になし。事務局からあるか。
事務局	第3回の審議会は、12月21日（月）の午前で予定したい。通知は改めて送付する。
議長	以上ですべての議事が終了した。皆様の御協力に感謝し議長の任を解かせていただく。
山崎副会長	閉会のことばを山崎副会長にお願いします。
議長	閉会のことば。

--	--